



MS303-18001

モーションコントロールビーム

取付・取扱要領書

この度はTRDモーションコントロールビームをお買い上げいただきありがとうございます。
本書にはTRDモーションコントロールビームの取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません、取付けは車両登録後に行ってください。
- 本商品の取付け作業・部品交換は、必ず専門の整備工場で行ってください。
- 本商品の取付け作業・部品交換は、必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

■ 品番・適合車種

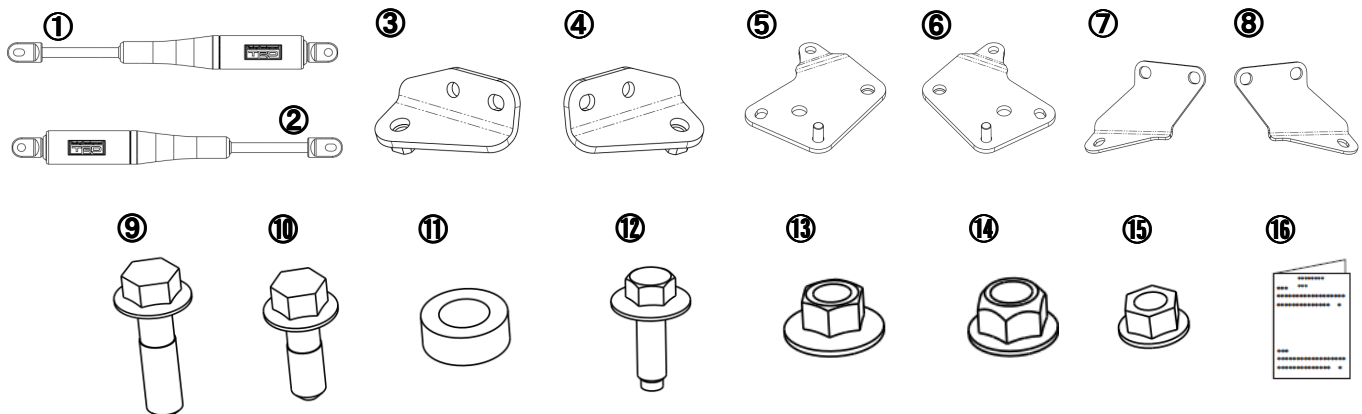
品番	適合	型式	年式	備考
MS303-18001	86	ZN6	'12.04~	

- ・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。<http://www.trdparts.jp/>
- ・本商品は、TRDフロントストラットタワーバー(MS324-18001以下、タワーバーという)と同時装着が可能です。同時装着をする場合は、タワーバーの取付・取扱要領書も参照のうえ、取付けを行ってください。

■ 構成部品

	部品名	数量	備考
①	モーションコントロールビーム RH	1	
②	モーションコントロールビーム LH	1	
③	カウルブラケット RH	1	
④	カウルブラケット LH	1	
⑤	サスペンションブラケット RH	1	
⑥	サスペンションブラケット LH	1	
⑦	タワーバーブラケット RH	1	タワーバー同時装着時のみ使用
⑧	タワーバーブラケット LH	1	タワーバー同時装着時のみ使用
⑨	フランジボルト A	2	カウル⇄モーションコントロールビーム用 M10×L40
⑩	フランジボルト B	2	サスペンションブラケット⇄モーションコントロールビーム用 M10×L30
⑪	スペーサー	2	D24×d12×t9.0
⑫	フランジボルト C	2	純正ボルト再使用不可部品 SU003-02821 カウルブラケット用 M8
⑬	フランジナット a	6	純正ナット再使用不可部品 SU003-02885 ブラケット共用
⑭	フランジナット b	2	純正ナット再使用不可部品 SU003-04500 サスペンションサポーターロックナット用
⑮	フランジナット c	2	タワーバー同時装着時のみ使用 タワーバーブラケット用 M8
⑯	取付・取扱要領書(本書)	1	

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。



目次

取付けに必要な工具.....	2
取付けに必要な保護具・消耗品.....	2
取付け・取扱い上のご注意.....	2
取付構成図.....	3
TRDモーションコントロールビーム取付け要領.....	3～5
TRDフロントストラットタワーバー同時装着時の取付け要領.....	6～7
取付け後の確認・点検.....	8
締付けトルク一覧.....	8






取付けに必要な工具

一般工具、トルクレンチ








取付けに必要な保護具・消耗品

保護シート、保護テープ、

取付け・取扱い上のご注意

 警告	この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと人が傷害を負ったり、物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。
	してはいけない行為
	必ずおこなっていただくこと

警告

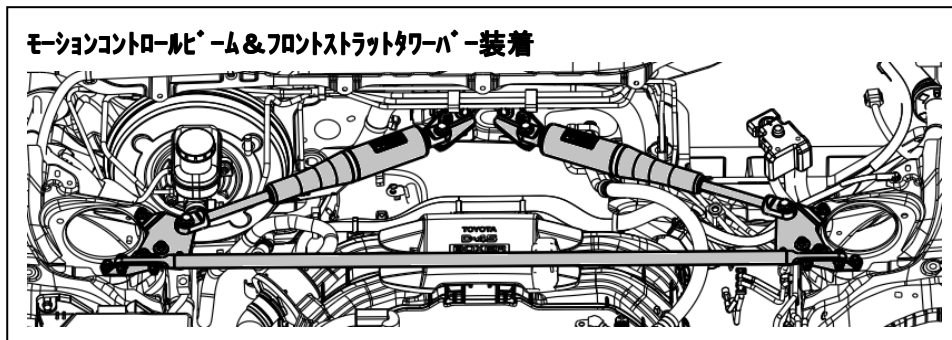
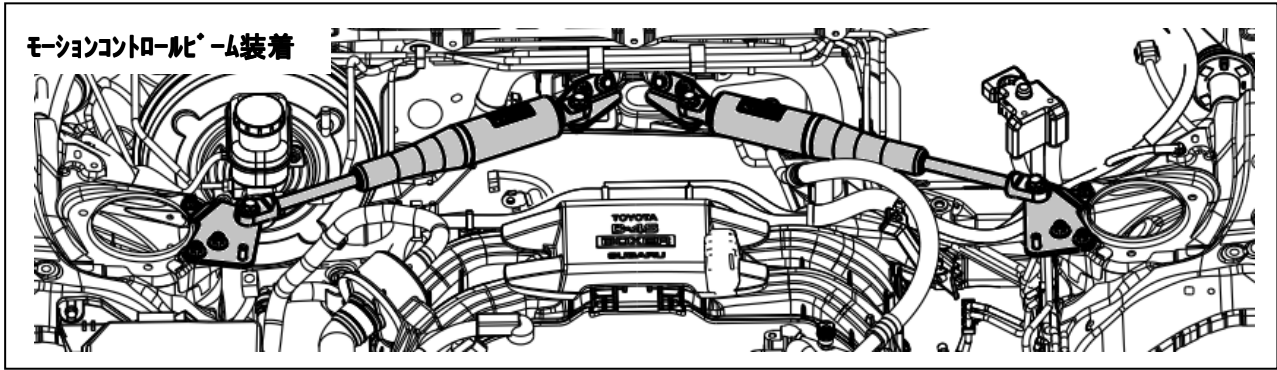
-  本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因になります。
-  取付け作業は、必ずエンジンが冷えていることを確認してください。エンジンルーム、マフラーが熱いとヤケドをする恐れがあります。
-  取付け作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。車両が予期せず動き、体を挟むなどの重度な事故の原因となります。
-  取付けの際は、規定トルクに従って、取付けボルト・ナット類を締付けてください。取付け時に緩みがあると徐々に緩んで、脱落などにより事故を招くおそれがあります。また締付トルクが過大だとネジが破損する恐れがあります。
-  取付け後、本商品と他の部品との干渉を確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  本商品装着後に、衝突などの強い衝撃を受けた場合は直ちに安全な場所に停車してください。取付け部分や本体に、変形や破損、故障が生じる場合があります。必ず、整備工場にて点検を受けてください。
-  本商品取付け後、走行中に異常な振動や異音を感じたら直ちに安全な場所に停車してください。そのまま走行を続けると、重大な事故や破損の原因となる場合があります。整備工場にて点検を受けてください。

◆本商品は1年・20,000kmの保証を実施いたします。(1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで)

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>「保証について」をご覧ください。

◆不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ至急ご連絡をお願いいたします。

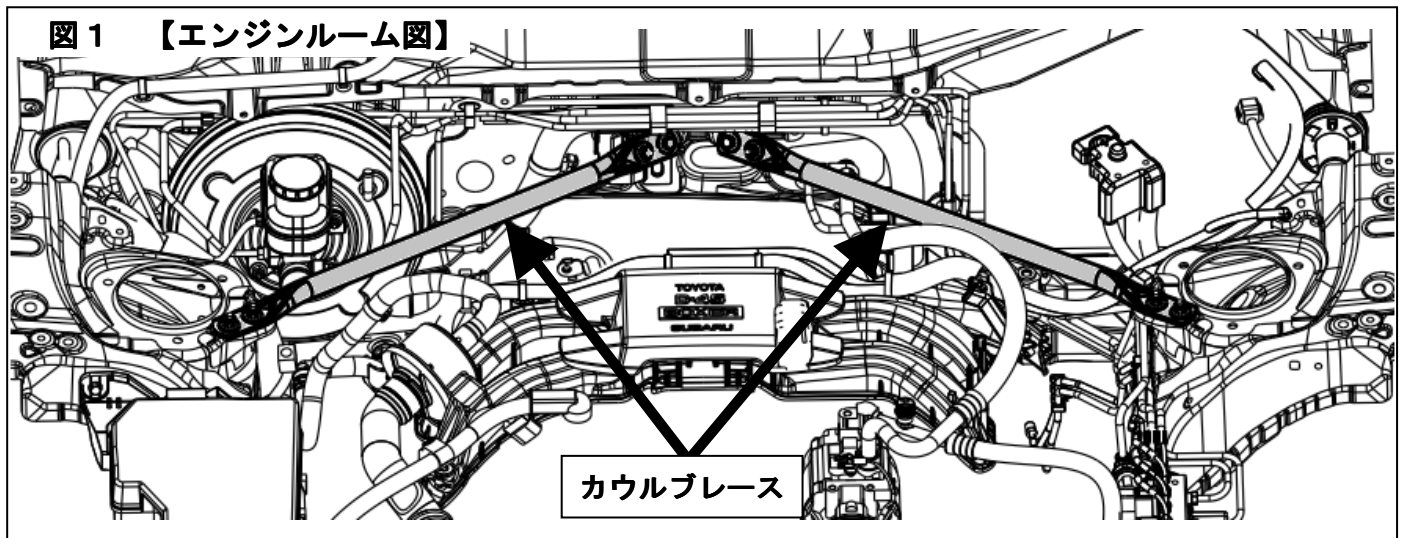
■ 取付構成図



■ TRD モーションコントロールビーム取付け要領

1. モーションコントロールビーム取付け準備作業

(1) 図1のように、該当車両の修理書に従い、カウルブレースRH/LHを取外す。



👉 アドバイス

- ・純正部品の取外しは該当車両の修理書に従い作業を行ってください。取外した部品（ブレース・ボルト、ナット）は再使用しません。ボルト・ナットは再使用不可部品になりますので必ず交換してください。
- ・各部品を脱着の際は傷つき防止の為、適切に保護シートやテープ等で養生を行ってください。
- ・特に配線・配管には十分に注意して保護するなど養生のうえ作業を行ってください。
- ・TRDフロントストラットタワーバーMS324-18001(別売り)を、新規に同時装着を行う場合、及びすでに装着済みの場合は、取付け要領3.の同時装着時の取付け要領へ進み作業確認を行なってください。

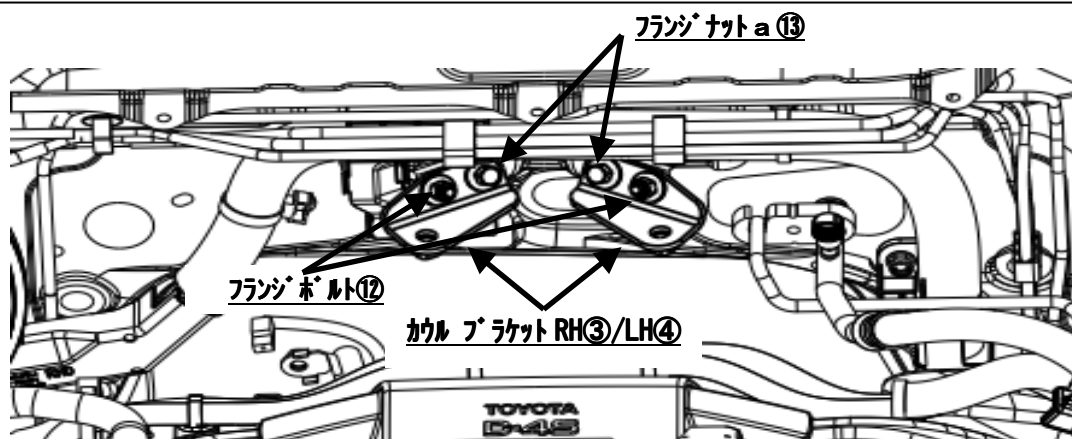
2. モーションコントロールビーム取付け

⚠ 注意

- ・取付けの際に、インパクトレンチや電動・エア工具の使用は絶対に行なわないでください。製品を破損する恐れがありますのでおやめください。

- (1) 図2のように、準備作業で車両カウルブレースを取り外したカウルパネル側の取付け部にフランジボルトC⑫・フランジナットa⑬を使用して、カウルブラケットRH③/LH④を、規定トルクで締付ける。
【ボルト・ナット共 締付トルク：16.0N・m】

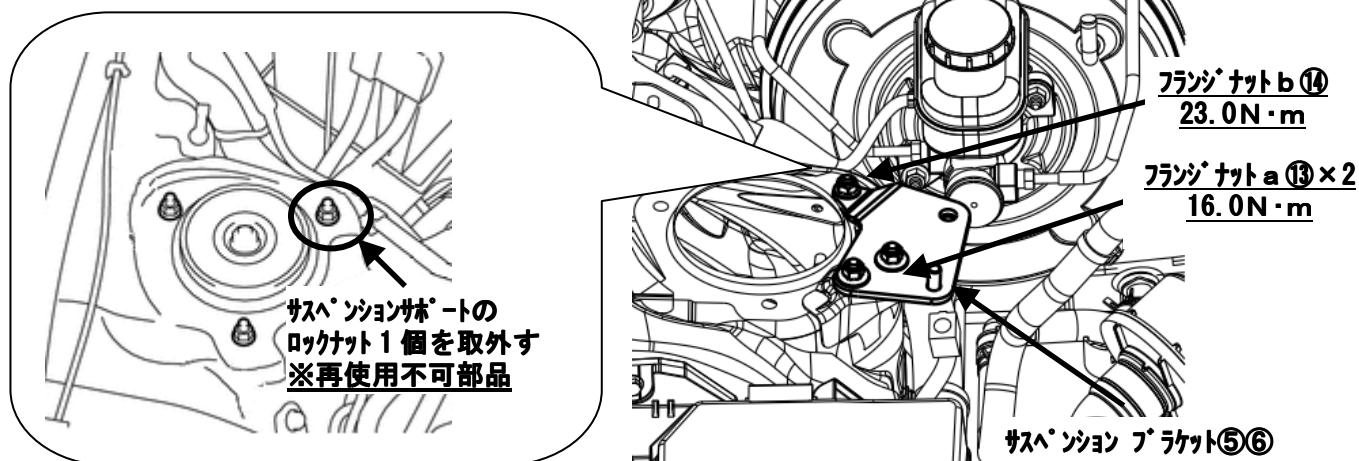
図2



- (2) 図3のように、車両サスペンションサポートのロックナットを取外し、フランジナットa⑬・フランジナットb⑭を使用して、サスペンションブラケット⑤⑥をサスペンションサポート部に規定トルクで締付ける。

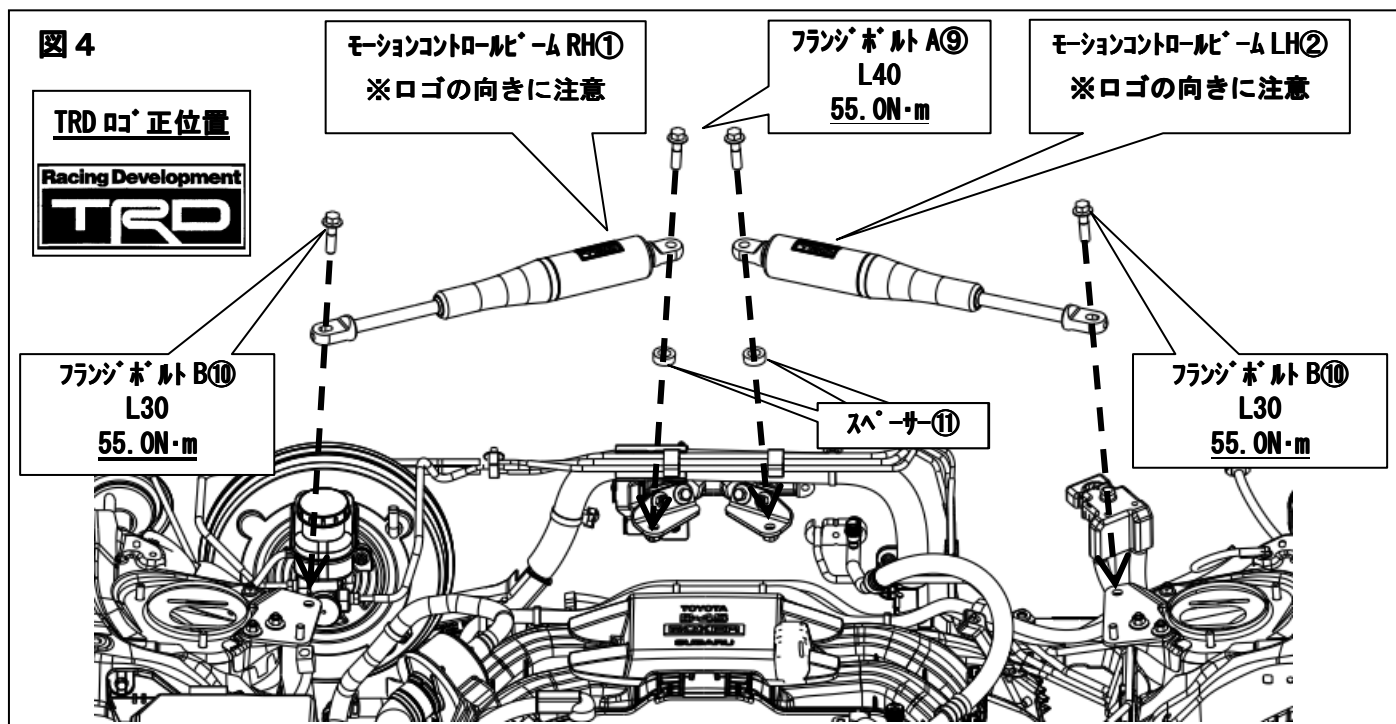
フランジナットa⑬(左右各2個)【締付トルク：16.0N・m】 **フランジナットb⑭【締付トルク：23.0N・m】**

図3



※図はRH側を示しています、LH側も同様に作業してください。

- (3) 図4のように、前作業(1)(2)で取付けた各ブラケットにカウル側をフランジボルトA⑨・スペーサー⑪、サスペンションサポート側にフランジボルトB⑩を使用してモーションコントロールビーム①②を規定トルクで締付ける。
【締付トルク：55.0N・m】



⚠ 注意

- 取付けの際に、インパクトレンチや電動・エア工具の使用は絶対に行わないでください。製品を破損する恐れがありますのでおやめください。

👉 アドバイス

- 車両正面視からTRDロゴが正位置に向くように組付けてください。
- 規定トルクで締付ける際は、タイヤが接地した状態(1G)で作業を行ない、リフトアップした状態での本締め作業は行わないようにしてください。

■ TRDフロントストラットタワーバー同時装着時の取付け要領

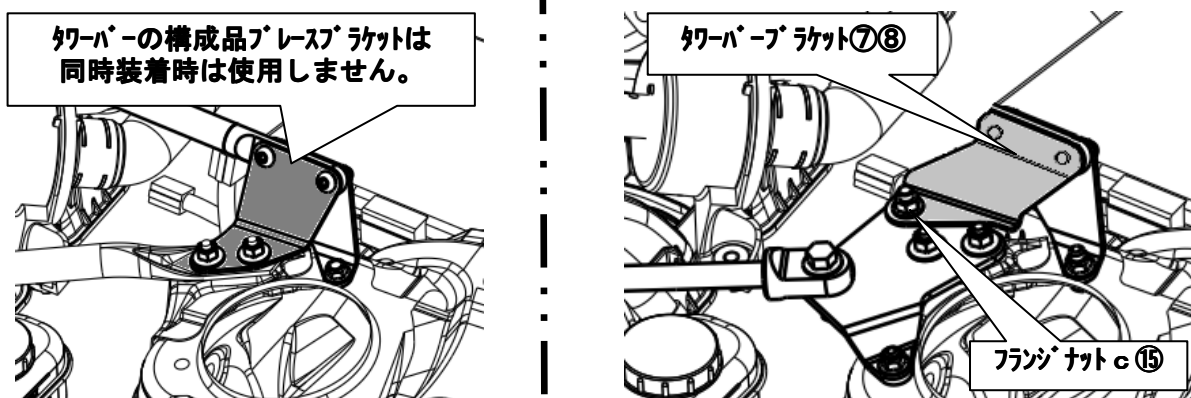
1. 新規にモーションコントロールビームとフロントストラットタワーバーを装着の場合

- (1) モーションコントロールビームとフロントストラットタワーバーを新規に装着の場合は、先にモーションコントロールビームの取付け作業を行う。
- (2) 図5のように、フロントストラットタワーバーの構成部品ブレースブラケットは使用しません。モーションコントロールビームに同梱されている、タワーバーブラケット⑦⑧を使用する。
- (3) 図5のように、サスペンションブラケットのスタッドボルト部にタワーバーブラケット⑦⑧を組付けフランジナットc⑮を使用して仮締めで取付ける。

👉 アドバイス

- ・使用しないフロントストラットタワーバーの構成部品は、単体での装着の際に必要になります。この部品は単品での補給を行っていないため、お手元で大切に保管をお願いいたします。

図5

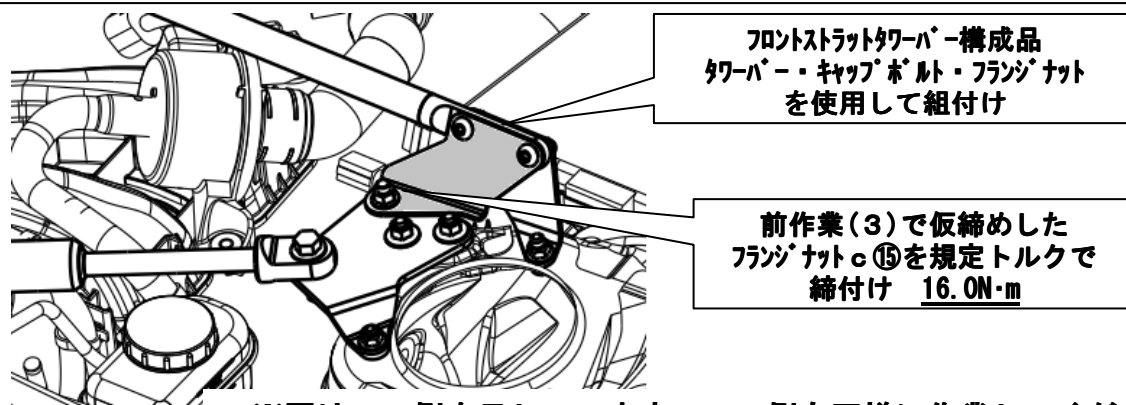


※図はRH側を示しています、LH側も同様に作業してください。

- (4) 図6のように、フロントストラットタワーバーの取付け要領書に従い、タワーバーとキャップボルト・フランジナット(タワーバー構成部品)を組付け、フランジナットc⑮を規定トルクで締付ける

【締付トルク：16.0N・m】

図6



※図はRH側を示しています、LH側も同様に作業してください。

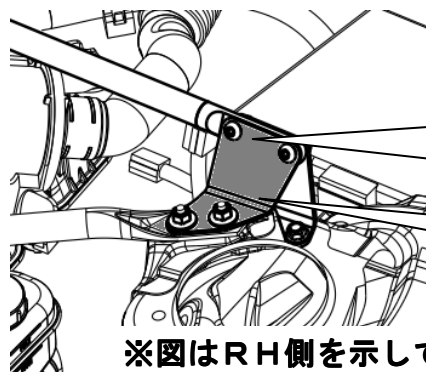
👉 アドバイス

- ・フロントストラットタワーバーの組付けは該当部品の要領書に従い、規定トルクで締付けてください。
- ・規定トルクで締付ける際は、タイヤが接地した状態(1G)で作業を行ない、リフトアップした状態での本締め作業は行わないでください。

2. フロントストラットタワーバー装着済みの場合

- (1) 図7のフロントストラットタワーバー構成品のタワーバー・キャップボルト・フランジナット
ブレースブラケットを取り外す。

図7



フロントストラットタワーバー構成品
タワーバー・キャップボルト・フランジナット
を取り外す
※後作業で再使用しますので
キズ付き等に注意して保管する

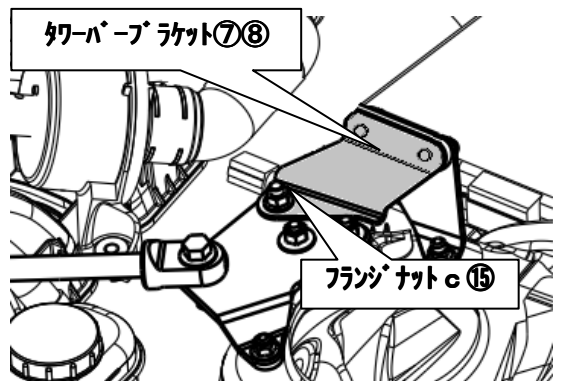
フロントストラットタワーバー構成品の
ブレースブラケットは取り外す
※再使用しません

※図はRH側を示しています、LH側も同様に作業してください。

アドバイス

- ・取外したフロントストラットタワーバーの構成部品は、単体での装着の際に必要になります。
この部品は単品での補給を行っていないため、お手元で大切に保管をお願いいたします。

図8

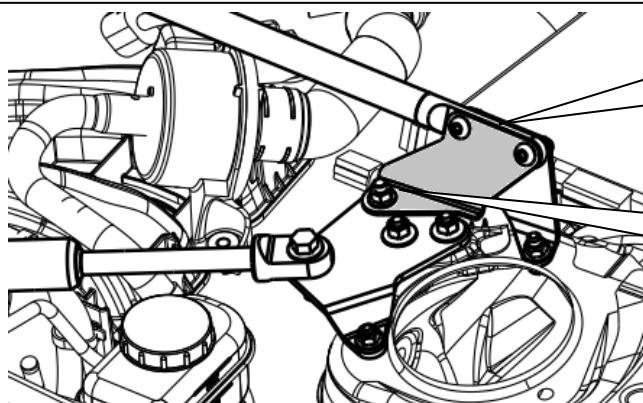


- (2) モーションコントロールビームの取付けを行う。
- (3) 図8のように、サスペンションブラケットの
スタッドボルト部にタワーバーブラケット⑦
⑧を組付けフランジナットc⑮を使用して
仮締めで取付ける。

- (4) 図9のように、フロントストラットタワーバーの取付け要領書に従い、タワーバーとキャップボルト・
フランジナット(タワーバー構成品)を組付け、フランジナットc⑮を規定トルクで締付ける

【締付トルク：16.0N・m】

図9



フロントストラットタワーバー構成品
タワーバー・キャップボルト・フランジナット
を使用して組付け

前作業(3)で仮締めした
フランジナットc⑮を規定トルクで
締付け 16.0N・m

※、LH側も同様に作業してください。

アドバイス

- ・フロントストラットタワーバーの組付けは該当部品の要領書に従い、規定トルクで締付けてください。
- ・規定トルクで締付ける際は、タイヤが接地した状態(1G)で作業を行ない、リフトアップした状態での
本締め作業は行わないでください。

■ 取付け後の確認・点検

- ・取付け作業後、配線や配管に干渉が無いことを確認する。
- ・取付け後数キロの走行を行い、異音等がないことを確認する。
- ・装着後は、定期的に（定期点検やシーズンチェック時）取付け各部の締付け点検を行ってください。

■ 締付トルク一覧

